

教室

生き生き暮らせる楽々リハビリ
転倒しない体力作り 元気になれる体操教えます！

在宅介護支援セン
ター太郎・弘済園在
宅介護支援センタ
ー 野村病院在宅介
護支援センター主
任

高齢者の寝たきり
の原因として、転倒による骨折
と関節傷害があります。今回は



こもれび
ほっと・サークル
「和菓子作りとお茶会」

3月は春
にふさわし
い和菓子で
練りきりを
作ります。対象はおおむね65歳
以上の方

3月18日(金)午後1時～3時30
分 スペース(下連雀一丁目)
で。参加費700円(材料費を含む)。

講師はマザーランドの三武美津
枝さん。

2月7日(月)午前9時から同事
務局 ☎42 4469へ申し込
む。先着10人。

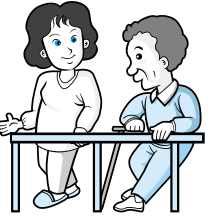
こもれび電話相談 ☎42 4
471
毎週水・金曜日午後1時～3
時には相談員が対応します。

募集

三鷹市介護認定調査員
を募集(若干名)

業務内容 要介護認定申請
をした被保険者の自宅などを訪
問し、日常生活の状況調査およ
びそのほか要介護認定調査に必
要な事務を行う。

調査件数は1日あたり4件
程度。移動手段は自転車など。
受験資格 平成17年4月1



障害者支援費制度の
利用相談会

三鷹市心身障害者(児)親
会・地域生活支援センター・ぼ
つぷ主催

対象は心身に障がいをお持ち
の方とその家族(ご自身のこ
と、お子さんのこと、ご家族のこ
と、福祉サービスの利用に関する
ことなど)、どんなことでもお気軽
に相談ください。

2月21日(月)・22日(火)午前10時
～正午、市役所第三庁舎313号会
議室。

直接会場へ。
⇩同会(野原) ☎32 185
8・同センター ☎471 090
1

セミナー・相談会
「参加型の社会貢献事業」
へ情報提供を

三鷹まちづくり専門家会議と
三鷹市は協働して、公的補助制
度などを利用して土地や建物を
高齢者住宅や知的障害者グル
ープホームなどに活用することを
具体的に考えるためのセミナー
「みんなでつくる安心の住まい
づくり」を開催します。

先立ち、個人、法人、企業、各
種団体の方などで土地、建物に
関する情報をお持ちの方からの
情報提供を求めています。情報
をお持ちの方は同会事務局(N
PO法人デン) ☎70 451
6・☎042 580 3102・
info@den.net()連絡を。

2
⇩高齢者支援室 ☎内線268

すくすくひろばフリーマ
ーケット出店募集

対象は就学前のお子さんを
持つ3人以上の市民グループ(グ
ループ重複しての申し込み不可)。
出店物は子育てに関する
ものを中心とします(食品やゲ
ームは不可)。

3月13日(日)午前10時～午後2
時 すくすくひろば。1店舗
(2×18㎡)

2月11日(祝)(消印有効)まで
に、往復はがきにメンバー全員
の住所・氏名・電話番号・お子
さんの年齢・販売予定品を記入
し「〒181 0013下連雀4
19 6すくすくひろば」へ申し
込む。公募数10店舗(申込多数
の場合は抽選)。

事前ミーティング 2月21
日(月)に事前ミーティングを行
います。出店者で運営委員会を
つくるため、当日運営に参加する
運営委員をグループで一人決め
て、必ず出席してください。

⇩同ひろば ☎45 7710

児童扶養手当の特例支給
をします

児童扶養手当は、平成10年7
月以前は、母が婚姻によらない
で懐胎した児童が父から認知さ
れた場合は除外規定により支給
されていませんでした。しかし
最高裁判決により、平成10年7
月以前に児童が父に認知された
ことにより本手当を受給できな
かった方(当時、東京都に住ん
でいた方)を対象に、遡及して
支給を行うことになりました。

現在三鷹市在住で該当する方
は、子育て支援室(市役所4階
④番窓口)にご相談ください。

遡及申請する場合、当時の事実
を証明する書類などが必要にな
ります。手当を正しく支給する
ため、「ご理解とご協力をお願い
します。」

注意事項
遡及支払い対象期間は、お
子さんが認知されたことを理由
に手当が受けられなかった期間
のうち、平成10年7月分までで
す。手当の支払いは当時の手

児童手当・児童育成手当
を振り込みます

10～11月分の児童手当・児童
育成手当・障害手当を2月10日
(木)に指定預金口座に振り込み
で支給します。

金融機関によって2～5日
遅れることもあります。

児童手当 小学校第3学年
修了前の児童を養育している方
に支給します。手当月額は第
1・2子が各5千円、第3子以
降が1万円です。

⇩児童育成手当 18歳に達し
た日の属する年度末までの児童
で、所得制限額を適用し
て行います。遡及支払い対象
期間中に都外へ転出された場合
は、転出先の道府県が支払いま
す。当該道府県の児童扶養手当
担当課へお問い合わせください。

⇩東京都育成支援課 ☎03 5
320 4123・三鷹市子育
て支援室(市役所4階④番窓口)
☎内線2675

市民文芸
三鷹短歌会12月の秀歌

【選と評】金田義重
榉落葉の下くくりゆくハケの水あ
るかなきの音をたてつ
「評」榉落葉の下から聞こえる水
音に、ふと立止った作者。その
かすかな音がハケの湧水の音で
あると確信した作者の感動が素
直に詠われている。

古農家の暗き土間に煙たち老若
ランティア炉の火を守る
八島靖夫
「評」囲炉裏で燃やす榎木の焔や
煙にはなぜか郷愁を感じるが、
農家でも囲炉裏を生活に使用し
ているところは少なくなつて来
ている。「炉の火を守る」は単
なる「火を守る」ではなく、日
本の農家の生活を語り継いでい
くランティアの姿勢に共感し
ているのだ。

移築されし農家の庭に秋日受け小
花散らして蕎麦の花咲く
松村美恵子
「評」この移築農家は三鷹市から
のもの。昭和12・13年か
らの農家は麦の栽培が多く、蕎

第9回福祉映画会「石井
のおとぎさんありがとう」

三鷹市社会福祉協議会・三鷹
市ボランティア連絡協議会共
催
明治・大正期に児童福祉の父

とよばれた石井十次の人生を描
いた映画 松平健主演
3月12日(土)午後1時30分～3
時30分、三鷹市公会堂。

前売券1千円、当日券1千200
円(社会協会員は200割引)。チ
ケットは福祉会館、ボランティア
センター、各コミュニティセ
ンターなどで販売しています。

⇩みたがボランティアセンタ
ー ☎76 1271

募集
学童嘱託保育員(産休
代替嘱託職員、一般嘱
託職員)を各1人募集

応募資格 45歳以下()は
平成17年3月1日現在、は平
成17年4月1日現在()の方で教
員または保育士の資格を有する
方(幼稚園教諭可)。

勤務場所 市内19カ所の学
童保育所
勤務期間 3月1日～平

手に残る母の手縫の綿入れを
思い、母を追慕しているのだ。
もの名のさらりと出てぬもどか
しと夫との会話、あれがあれし
て。
「評」代弁的な歌。自分と引き比
べて思わず吹き出してしまうが
哀愁がよぎる。下句の会話の例
でもどかしさが身近になつた。

三鷹俳句会12月の秀句
【選者】井上弘・飯田六斗
薬局に子供のおもちや冬日和
佐野みさを
寝静まる子に寒折の近きかな
大久保英一
米を磨く水のかたさや冬兆す
小川曾貞子
森の奥神に集ひて火を焚けり
山田光起
炉火赫し多摩に隠れた民権史
伊藤紫香
狐火のはなしも一芸ちゃん
押司園子
佇立てて時雨の似合ふ人の来る
大和谷慈子
イラクまで続く此の空布団十
浅沼仁美子
枯露柿のすだれに明かき甲斐の里
寺田絢子

桐火鉢恋は素朴にはじまりぬ
大竹ハル子
光り合ふ波より生れかいつづり
久分合ゆき子
冬ざれや心の火種消すまじく
田中淑子
火の国の地酒を口に師走かな
小泉秀夫
牛鍋や煮落けてとへる葱の芯
赤木よ
熱燗や小声で寝る娘の癖
三矢恵啓
年の暮物捨てられぬ戦中派
南みち
食道のカメラ冷たく胃へ滑る
高見勝
冬薔薇老いても胸の火は消さず
牧文字
我が影の長さを踏みて年惜しむ
板橋クラ子

2月の三鷹俳句会
2月13日(日)午後1時から三
鷹駅前地区公会堂で。兼題は
なく、「当季雑詠」で出句は3
句。資料代1千円
くわしくは大和谷宅 ☎46
9820へ。

募集

平成18年2月28日、4月1日、
平成18年3月31日
勤務時間 月々金曜日
午前11時30分～午後5時30分
土曜日 午前8時30分～午後2
時30分(学校休校期間は5時15
分まで)、6時間勤務日 午
前11時30分～午後5時30分
5時間勤務日 午後0時30分～5
時30分、8時間勤務日 午前8
時30分～午後5時15分、と
もに超過勤務・休日勤務あり。

賃金 月額17万2千700円
15万4千円、交通費別途支給
2月9日(水)までの午前9時～
午後4時(土・日曜日を除く)、
三鷹市社会福祉協議会(福祉会
館内)へ履歴書(写真添付)・
取得資格を証明するものを持参
し、本人が直接申し込む。

試験日 2月19日(土)筆記試
験 面接試験
⇩三鷹市社会福祉協議会 ☎46
1108

募集
学童嘱託保育員(産休
代替嘱託職員、一般嘱
託職員)を各1人募集

応募資格 45歳以下()は
平成17年3月1日現在、は平
成17年4月1日現在()の方で教
員または保育士の資格を有する
方(幼稚園教諭可)。

勤務場所 市内19カ所の学
童保育所
勤務期間 3月1日～平

手に残る母の手縫の綿入れを
思い、母を追慕しているのだ。
もの名のさらりと出てぬもどか
しと夫との会話、あれがあれし
て。
「評」代弁的な歌。自分と引き比
べて思わず吹き出してしまうが
哀愁がよぎる。下句の会話の例
でもどかしさが身近になつた。

三鷹俳句会12月の秀句
【選者】井上弘・飯田六斗
薬局に子供のおもちや冬日和
佐野みさを
寝静まる子に寒折の近きかな
大久保英一
米を磨く水のかたさや冬兆す
小川曾貞子
森の奥神に集ひて火を焚けり
山田光起
炉火赫し多摩に隠れた民権史
伊藤紫香
狐火のはなしも一芸ちゃん
押司園子
佇立てて時雨の似合ふ人の来る
大和谷慈子
イラクまで続く此の空布団十
浅沼仁美子
枯露柿のすだれに明かき甲斐の里
寺田絢子

桐火鉢恋は素朴にはじまりぬ
大竹ハル子
光り合ふ波より生れかいつづり
久分合ゆき子
冬ざれや心の火種消すまじく
田中淑子
火の国の地酒を口に師走かな
小泉秀夫
牛鍋や煮落けてとへる葱の芯
赤木よ
熱燗や小声で寝る娘の癖
三矢恵啓
年の暮物捨てられぬ戦中派
南みち
食道のカメラ冷たく胃へ滑る
高見勝
冬薔薇老いても胸の火は消さず
牧文字
我が影の長さを踏みて年惜しむ
板橋クラ子

2月の三鷹俳句会
2月13日(日)午後1時から三
鷹駅前地区公会堂で。兼題は
なく、「当季雑詠」で出句は3
句。資料代1千円
くわしくは大和谷宅 ☎46
9820へ。